

2014年3月期決算説明会



2014年4月28日

---

# 1. 2013年度決算実績概要

---

## ポイント 増収増益

(+ - ,+ / ▲は利益に対する影響を示す, 億円)

<b>売上高</b>	+1,965	+	都市ガス売上増	(+1,032:円安等に伴う販売単価増+1,399、料金改定▲62、物量減▲372等)	-	┌
			LNG販売売上増	(+ 227:販売量増、単価増 )		
			海外売上増	(+ 97:プルート稼働増、バーネット権益取得等 )		
			電力売上増	(+ 89:販売単価増等 )		
<b>営業費用</b>	▲1,760	-	都市ガス原材料費増	(▲909:為替▲1,414、油価+287、数量減+221等 )	-	└
			LNG販売原材料費増	(▲205:販売量増、単価増 )		
			海外費用増	(▲ 93:稼働増等 )		
			電力費用増	(▲ 36:原料費増等 )		
<b>営業利益</b>	+204	+	都市ガス利益増	(+ 113:ガス粗利+77(うち気温影響▲79,料金改定▲62)等)	-	┌
			電力利益増	(+ 53:販売単価増等)		
			LNG販売利益増	(+ 22:販売量増、単価増)		

スライドタイムラグ差 +288

(単位: 億円)

	2013年度	2012年度	増減	%
ガス販売量(百万m <sup>3</sup> , 45MJ)	14,735	15,390	▲655	▲4.3%
売上高	21,121	19,156	+1,965	+10.3%
営業費用	19,460	17,700	+1,760	+9.9%
営業利益	1,660	1,456	+204	+14.0%
経常利益...①	1,596	1,474	+122	+8.2%
当期純利益	1,084	1,016	+68	+6.7%
気温影響...②	▲25	54	▲79	—
スライドタイムラグ...③	164	▲124	+288	—
年金数理差異償却額...④	▲22	▲44	+22	—
補正経常利益①-(②+③+④)	1,479	1,588	▲109*	▲6.9%
補正当期純利益	1,007	1,092	▲85	▲7.8%

※▲109:ガス販売量減▲72(気温影響▲79控除後)、料金改定▲62、電力+53、営業外▲82、その他のセグメント利益等+54

経済フレーム	為替レート(¥/\$)	原油価格(\$/bbl)	平均気温(°C)	年金	運用利回り ※コスト控除後	割引率	期末資産(億円)
13年度	100.17	109.99	17.0	12年度	6.10%	1.4%	2,760
12年度	82.91<+17.26>	113.88<▲3.89>	16.6<+0.4>	11年度	5.13%	1.7%	2,540

# 連結ガス販売量実績

## 前年度実績→今年度実績

▲655百万m<sup>3</sup> (▲4.3%)の減少

[うち気温影響▲117百万m<sup>3</sup>▲0.8%の減少]

### ■ 家庭用 ▲85百万m<sup>3</sup> (▲2.4%)

- 気温要因 ▲99百万m<sup>3</sup>
- 日数影響 +8百万m<sup>3</sup>
- お客さま件数 +50百万m<sup>3</sup>
- その他 ▲43百万m<sup>3</sup>

### ■ 業務用 ▲3百万m<sup>3</sup> (▲0.1%)

- 気温要因 ▲10百万m<sup>3</sup> (空調+2, その他▲12)
- 日数影響 +17百万m<sup>3</sup>
- お客さま件数 +4百万m<sup>3</sup>
- その他 ▲14百万m<sup>3</sup>

### ■ 工業用 ▲622百万m<sup>3</sup> (▲8.8%)

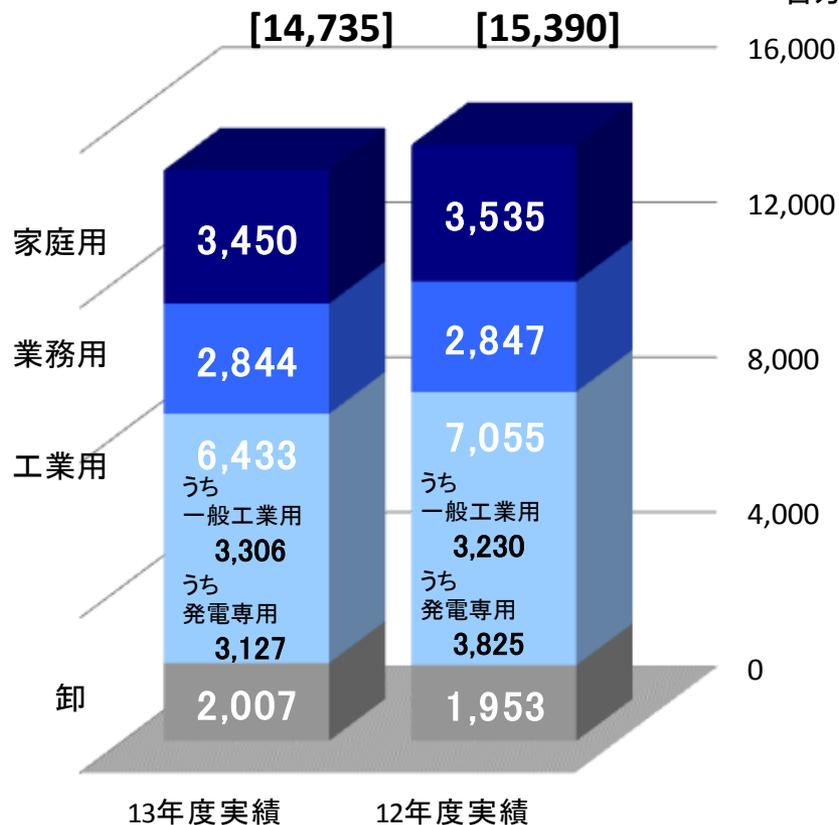
- 一般工業用: +76百万m<sup>3</sup>
- 発電専用: ▲698百万m<sup>3</sup>
- トーリング影響 ▲969百万m<sup>3</sup>
- 鹿島地区増分 +266百万m<sup>3</sup>等

### ■ 卸 +54百万m<sup>3</sup> (+2.8%)

- 気温要因 ▲8百万m<sup>3</sup>
- その他 +62百万m<sup>3</sup>
- 卸供給事業者需要増等

ガス販売量:

百万m<sup>3</sup>



### お客さま件数(万件)

2013年度実績	2012年度実績	増減
1,111.1	1,097.8	+13.3 (+1.2%)

	2013年度	2012年度	増減
LNG液販売量(千t)	784	604	+180
平均気温(°C)	17.0	16.6	+0.4

# トーリング移行によるガス販売量変化

## 実績

### ■ トーリングによるガス使用量込(単位:百万m<sup>3</sup>)

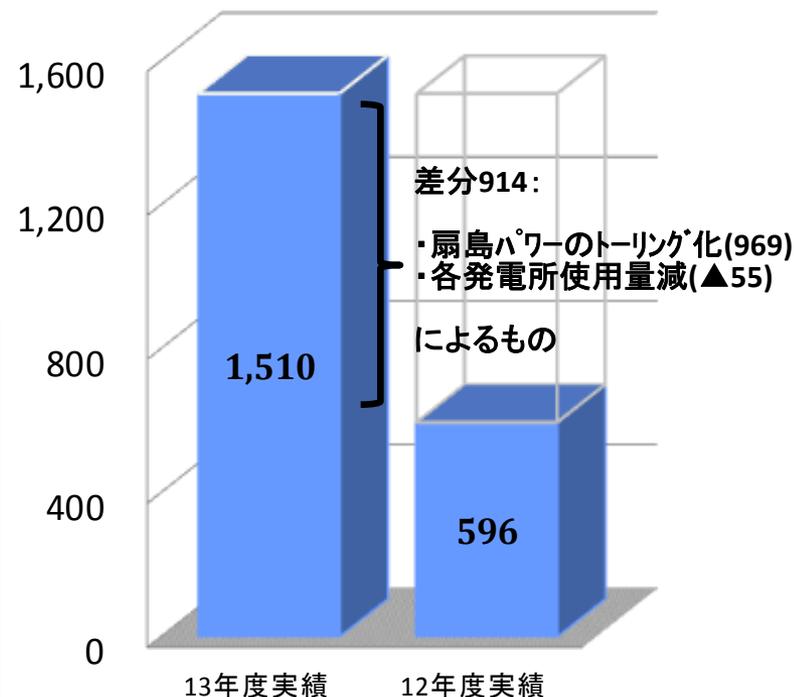
	13年度 実績	12年度 実績	増減
ガス販売量 (財務会計数値)	14,735	15,390	▲655 ▲4.3%
トーリングによる ガス使用量	1,510	596	+914 +153.2%
合計	16,245	15,986	+259 +1.6%

### ■ 工業用ガス販売量内訳(単位:百万m<sup>3</sup>)

	鹿島地区	その他	合計
発電専用	581	2,546	3,127
対12年度実績	+266(+84.4%)	▲964※(▲27.5%)	▲698(▲18.2%)
一般工業用	184	3,122	3,306
対12年度実績	+95(+106.5%)	▲19(▲0.6%)	+76(+2.4%)
合計	765	5,668	6,433
対12年度実績	+361(+89.2%)	▲983(▲14.8%)	▲622(▲8.8%)

※うちトーリング移行分: ▲969

トーリングによるガス使用量



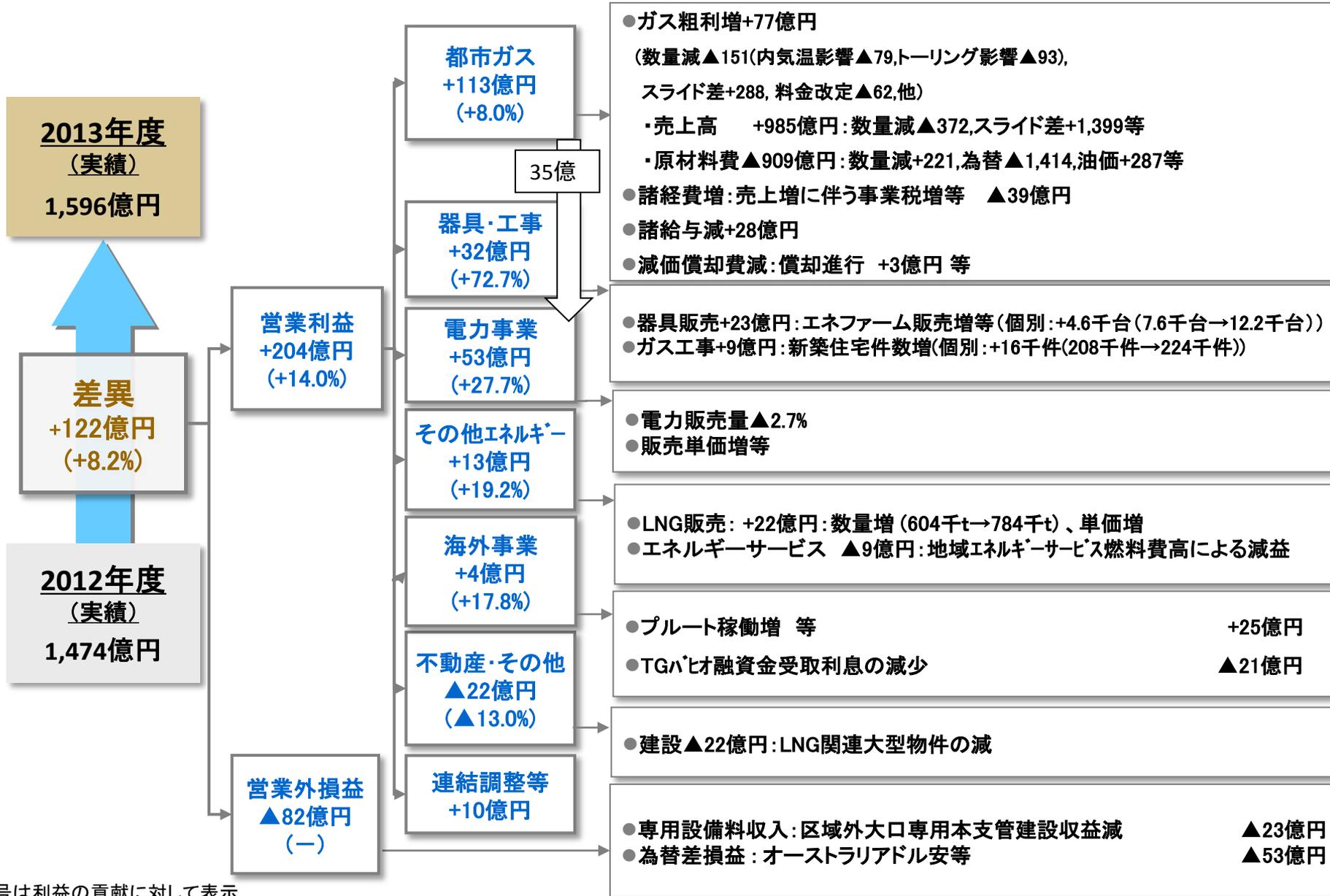
# 2013年度実績 セグメント別売上高・営業損益(対2012年度実績)

(単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	2013年度	2012年度	増減	%	2013年度	2012年度	増減	%
都市ガス	15,051	14,019	1,032	7.4	1,526	1,413	113	8.0
器具及びガス工事	2,217	2,060	157	7.6	76	44	32	72.7
その他エネルギー	3,575	3,366	209	6.2	325	259	66	25.4
(電力事業)	1,359	1,270	89	7.0	244	191	53	27.7
不動産	283	302	▲19	▲6.4	57	56	1	1.8
その他	1,993	1,957	36	1.9	116	135	▲19	▲13.6
(海外事業)	221	124	97	78.3	28	24	4	17.8
調整額	▲2,000	▲2,550	550	—	▲441	▲451	10	—
連結	21,121	19,156	1,965	10.3	1,660	1,456	204	14.0

- 注記:
- ・ セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
  - ・ 「その他エネルギー」には、「エネルギーサービス」、「液化石油ガス」、「電力」、「産業ガス」、「LNG販売」を含みます。
  - ・ 「その他」には、建設事業、情報処理サービス事業、船舶事業、クレジット・リース事業、海外事業等を含みます。
  - ・ 営業損益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。
  - ・ ( )内は内数表示

# 2013年度実績 経常利益分析 <対2012年度実績>



※符号は利益の貢献に対して表示

## 設備投資

設備投資	主な件名	【参考】12年度実績
東京ガス: 1,388億円 (+117億円, +9.2%)	製造設備 :289億円 (+61億円) 日立LNG基地建設等	東京ガス: 1,271億円
	供給設備 :907億円 (+32億円) 茨城～栃木等幹線整備、需要開発関連等	
	業務設備等:190億円 (+24億円) システム関連投資、田町開発関連等	
連結子会社計: 1,123億円 (+535億円, 90.8%)	・海外上流投資744億円(+472億円) パーネットガス田、ゴーンガス田 等 ・オンサイトエネルギー117億円(+37億円)他	連結子会社計: 588億円
合 計 2,480億円 (+643億円,+34.9%, 連結消去後)		合計:1,837億円 (連結消去後)

※ ( ) 内増減は対前年度実績の数値

## 投融资

▲90億円(投融资15億円、回収▲105億円、対12年度▲143億円)

## 株主還元

627億円(TG個別分・キャッシュフローベース)  
(12年度期末及び13年度中間配当267億円、13年度自社株取得額360億円合計)

- 当社は、財務方針において総分配性向(連結当期純利益に対する配当と自社株取得の割合)の目標を、2020年度に至るまで各年度6割程度とし、配当と自社株取得により株主還元を行っている。
- 2013年度についても上記方針を順守し、以下の通り60%の株主還元を実施する。
  - ・通期10円配当の継続
  - ・自社株取得については400億円・8千万株(3.2%)をそれぞれ上限に消却目的で取得

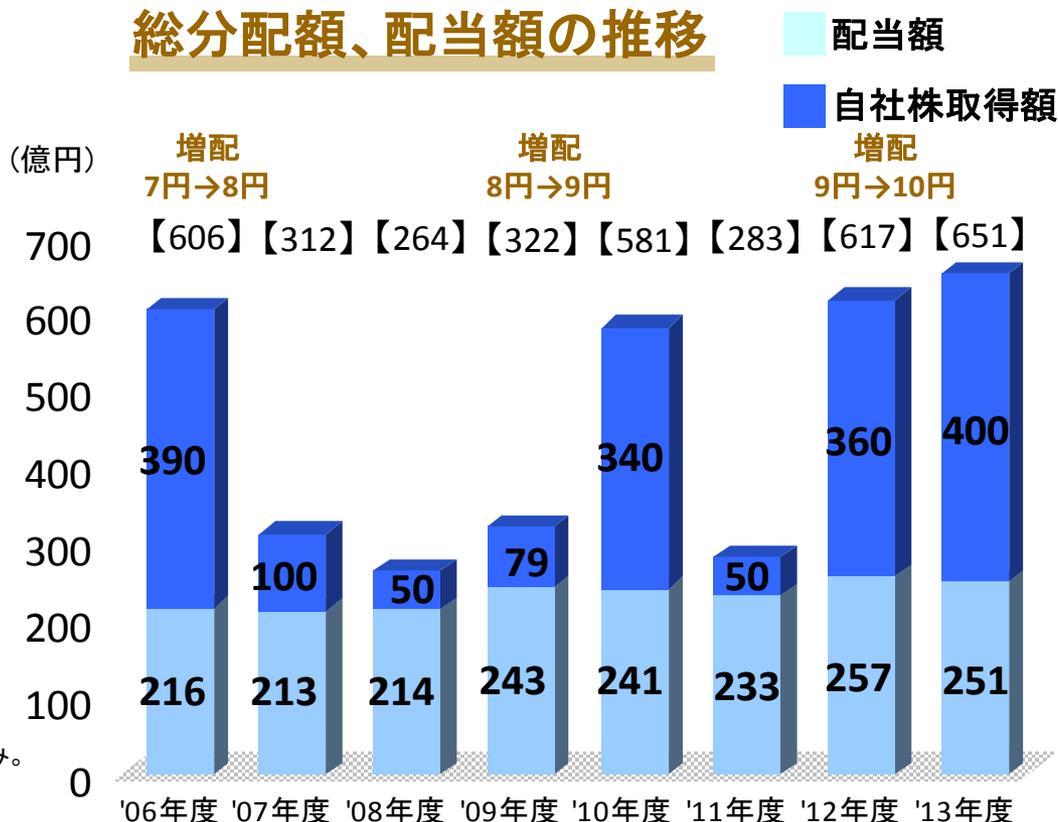
## 総分配性向60%を維持

$$\frac{\begin{array}{l} \text{総分配性向} \\ \text{60.0\%} \\ \\ \text{2013年度} \\ \text{配当額} \\ \text{251億円} \end{array} + \begin{array}{l} \text{2014年度} \\ \text{自社株取得} \\ \text{400億円} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{2013年度} \\ \text{連結当期純利益} \\ \text{1,084億円} \end{array}} =$$

※発行済株式総数: 2,517,551,295株(2014年3月31日現在)

・2014年度末での株主還元目的の累計自社株消却は373百万株、ピーク時の発行済株式総数の13.3%となる見込み。

## 総分配額、配当額の推移



総分配性向	(60.1%)	(73.6%)	(63.4%)	(60.1%)	(60.9%)	(61.4%)	(60.7%)	(60.0%)
-------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

---

## 2. 2014年度 通期見通し

---

## ポイント 増収減益

(+、-、+/-、▲は利益に対する影響を示す、億円)

<b>売上高</b>	+1,859	+	都市ガス売上増	(+1,285:数量増+398、円安等に伴う単価増+984、料金改定▲155等)	-
		+	電力売上増	(+ 289:販売数量増、単価増)	▲176
<b>営業費用</b>	▲2,220	-	都市ガス原材料費増	(▲1,559:数量増▲356、為替▲428、油価▲13、価格改定等▲762)	-
		-	電力費用増	(▲ 374:販売数量増、燃料費増)	
<b>営業利益</b>	▲360	-	都市ガス利益減	(▲ 255:ガス粗利減▲257(数量増+42、料金改定▲155、原料価格改定等))	
		-	電力利益減	(▲ 85:燃料費増)	
<b>特別損益</b>	+133	+	投資有価証券売却益増(+80)、固定資産売却益増(+31)等		(単位: 億円)

	2014年度	2013年度	増減	%
ガス販売量(百万m <sup>3</sup> , 45MJ)	15,266	14,735	+531	+3.6
売上高	22,980	21,121	+1,859	+8.8
営業費用	21,680	19,460	+2,220	+11.4
営業利益	1,300	1,660	▲360	▲21.7
経常利益…①	1,230	1,596	▲366	▲22.9
当期純利益	940	1,084	▲144	▲13.3

気温影響…②	0	▲25	+25	—
スライドタイムラグ…③	▲12	164	▲176	—
年金数理差異償却額…④	30	▲22	+52	—
補正経常利益①-(②+③+④)	1,212	1,479	▲267*	▲18.1%
補正当期純利益	927	1,007	▲80	▲7.9%

※▲267:ガス販売量増+17(気温影響+25控除後)、料金改定▲155、電力▲85、その他のセグメント利益等▲44

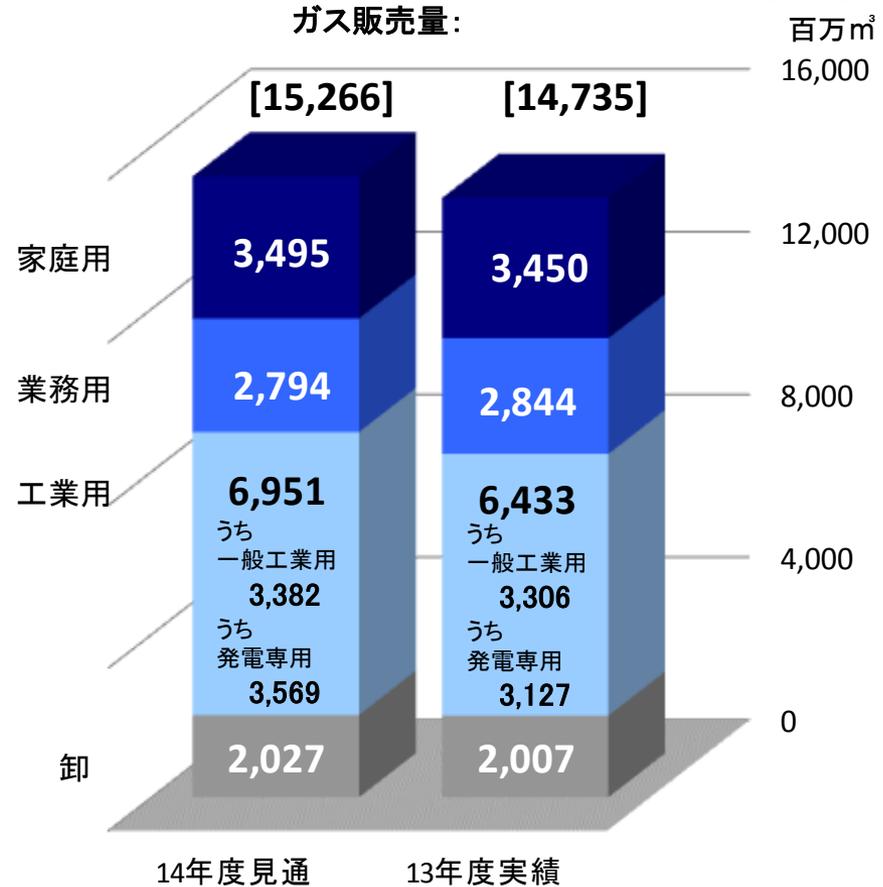
経済フレーム	為替レート(¥/\$)	原油価格(\$/bbl)	平均気温(°C)	年金	運用利回り ※コスト控除後	割引率	期末資産(億円)
今回見通し	105.00	110.00	16.6	13年度	1.61%	1.5%	2,730
前年度実績	100.17<+4.83>	109.99<+0.01>	17.0<▲0.4>	12年度	6.10%	1.4%	2,760

<>内対前年度増減

### 13年度実績→14年度見通し

**+531百万m<sup>3</sup> (+3.6%)の増加**  
 [うち気温影響 +9百万m<sup>3</sup>, +0.1%の増加]

<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>家庭用</b> +45百万m<sup>3</sup> (+1.3%)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>● 気温要因 +48百万m<sup>3</sup></li> <li>● 日数影響 ▲6百万m<sup>3</sup></li> <li>● お客さま件数 +41百万m<sup>3</sup></li> <li>● その他 ▲38百万m<sup>3</sup></li> </ul> </li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>業務用</b> ▲50百万m<sup>3</sup> (▲1.8%)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>● 気温要因 ▲44百万m<sup>3</sup> (空調▲40, その他▲4)</li> <li>● 日数影響 ▲6百万m<sup>3</sup></li> <li>● お客さま件数 0百万m<sup>3</sup></li> <li>● その他 0百万m<sup>3</sup></li> </ul> </li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>工業用</b> +518百万m<sup>3</sup> (+8.0%)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>● 一般工業用: +76百万m<sup>3</sup></li> <li>● 発電専用: +442百万m<sup>3</sup> <ul style="list-style-type: none"> <li>鹿島地区増分 +718百万m<sup>3</sup></li> <li>その他既存発電所稼働減 ▲276百万m<sup>3</sup></li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>卸</b> +20百万m<sup>3</sup> (+1.0%)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>● 気温要因 +5百万m<sup>3</sup></li> <li>● その他 +15百万m<sup>3</sup></li> </ul>                             卸供給事業者需要増等                         </li> </ul>



#### お客さま件数 (万件)

2014年度見通し	2013年度実績	増減
1,123.8	1,111.1	+12.7(+1.1%)

	2014年度	2013年度	増減
LNG液販売量 (千t)	965	784	+181
平均気温 (°C)	16.6	17.0	▲0.4

### 見通し

#### ■ トーリングによるガス使用量込(単位:百万m3)

	2014年度	2013年度	増減
ガス販売量 (財務会計数値)	15,266	14,735	+531 +3.6%
トーリングによる ガス使用量	1,666	1,510	+156 +10.3%
合計	16,932	16,245	+687 +4.2%

2020ビジョンベース:                      18,138百万m<sup>3</sup>    17,225百万m<sup>3</sup>                      +913百万m<sup>3</sup>

#### ■ 工業用ガス販売量内訳(単位:百万m3)

	鹿島地区	その他	合計
発電専用	1,299	2,269	3,569
対前年度実績	+718(+123.6%)	▲276(▲10.9%)	+442(+14.1%)
一般工業用	205	3,177	3,382
対前年度実績	+21(+11.4%)	+55(+1.7%)	+76(+2.3%)
合計	1,505	5,446	6,951
対前年度実績	+739(+96.6%)	▲222(▲3.9%)	+518(+8.0%)

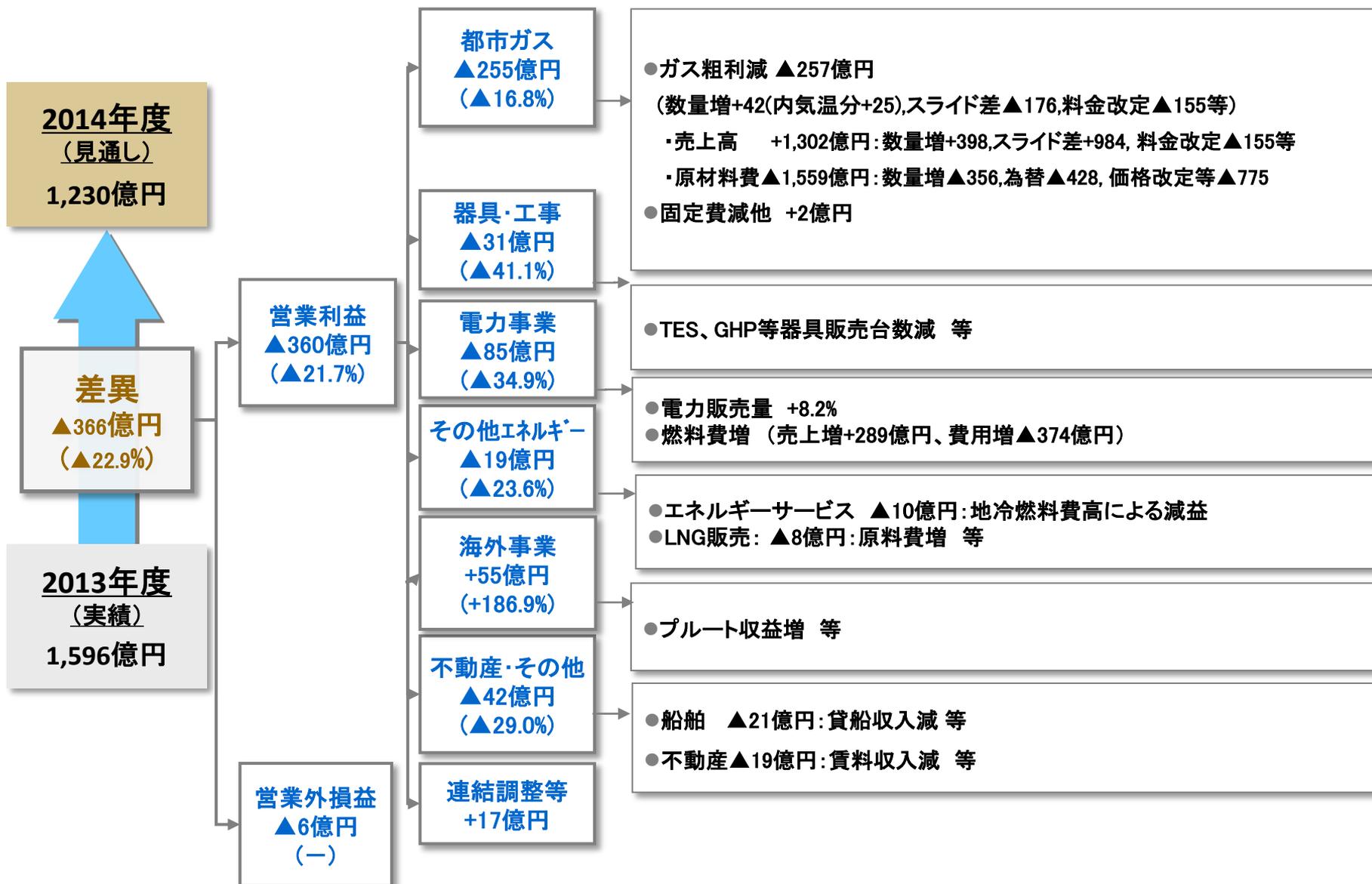
(単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	2014年度	2013年度	増減	%	2014年度	2013年度	増減	%
都市ガス	16,336	15,051	1,285	8.5	1,271	1,526	▲255	▲16.8
器具及びガス工事	2,100	2,217	▲117	▲5.3	45	76	▲31	▲41.1
その他エネルギー	4,170	3,575	595	16.6	221	325	▲104	▲32.1
(電力事業)	1,648	1,359	289	21.2	159	244	▲85	▲34.9
不動産	241	283	▲42	▲14.9	38	57	▲19	▲33.3
その他	2,102	1,993	109	5.4	148	116	32	26.5
(海外事業)	345	221	124	55.8	83	28	55	186.9
調整額	▲1,969	▲2,000	31	—	▲423	▲441	17	—
連結	22,980	21,121	1,859	8.8	1,300	1,660	▲360	▲21.7

- 注記:
- ・ セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
  - ・ 「その他エネルギー」には、「エネルギーサービス」、「液化石油ガス」、「電力」、「産業ガス」、「LNG販売」を含みます。
  - ・ 「その他」には、建設事業、情報処理サービス事業、船舶事業、クレジット・リース事業、海外事業等を含みます。
  - ・ 営業損益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。
  - ・ ( )内は内数表示

# 2014年度見通し 経常利益分析

〈対前年度実績〉



※符号は利益の貢献に対して表示

## 設備投資

設備投資	主な件名	【参考】13年度実績
東京ガス: 1,604億円 (+216億円, +15.6%)	製造設備 : 353億円 (+64億円) 日立LNG基地建設等	東京ガス: 1,388億円
	供給設備 : 1,000億円 (+93億円) 茨城～栃木等幹線整備、需要開発関連等	
	業務設備等: 250億円 (+60億円) システム関連投資、田町開発関連等	
連結子会社計: 783億円 (▲340億円, ▲30.3%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外上流投資 292億円(▲452億円)</li> <li>・扇島パワー175億円(+82億円)</li> <li>・オンサイトエネルギー91億円(▲26億円)他</li> </ul>	連結子会社計: 1,123億円
合 計 2,370億円 (▲110億円, ▲4.4%, 連結消去後)		合計: 2,480億円 (連結消去後)

※ ( ) 内増減は対前年度実績の数値

## 投融資

194億円(投融資245億円、回収▲51億円、対前年度+284億円)

## 株主還元

647億円(TG個別分・キャッシュフローベース)  
(13年度期末及び14年度中間配当247億円、14年度自社株取得額400億円合計)

## 所要資金と資金調達

【年度見通し】

(単位:億円)

所要資金		資金調達		
設備投資	2,370	自己資金	減価償却等	1,420
その他投融資※	194		経常利益	1,230
決算資金	642		その他	333
自社株取得	400		計	2,983
償還・返済 (個別分)	627 (413)	外部資金 (個別分)		1,250 (1,004)
計	4,233	計		4,233

## 有利子負債残高

2013年度末実績 : 7,138億円

2014年度末見通し: 7,730億円

※その他投融資は、投入金と融資金返済による相殺後。

年度内に発行・償還される季節運転資金としてのCPは、上記表には含まれていない。

(単位: 億円)

	2014年度 見通し	2013年度 実績	2012年度 実績
総資産 (a)	22,260	21,768	19,924
自己資本 (b)	10,300	10,117	9,276
自己資本比率 (b)/(a)	46.3%	46.5%	46.6%
有利子負債 (c)	7,730	7,138	6,425
D/E レシオ (c)/(b)	0.75	0.71	0.69
当期純利益 (d)	940	1,084	1,016
減価償却 (e)	1,420	1,403	1,387
営業キャッシュフロー (d) + (e)	2,360	2,488	2,404
設備投資 (Capex)	2,370	2,480	1,837
ROA: (d) / (a)	4.3%	5.2%	5.3%
ROE: (d) / (b)	9.2%	11.2%	11.5%
TEP	233	507	598
WACC	3.6%	3.2%	3.2%
総分配性向	60%程度予定	60.0%	60.7%

注: 自己資本 = 純資産 - 少数株主持分  
 ROA = 純利益 / 総資産 (期首・期末平均)  
 ROE = 純利益 / 自己資本 (期首・期末平均)  
 BS関連数値は各期末時点の数値  
 営業キャッシュフロー = 純利益 + 減価償却 (長期前払費用償却含む)  
 総分配性向 = [N年度の配当 + (N+1)年度の自社株取得] / N年度の連結純利益

\* 発行済株式総数: 2,517,551,295株(2014年3月31日現在)

TEP (Tokyo Gas Economic Profit) について  
 TEP = NOPAT - 資本コスト (投下資本 × WACC)  
 WACC 算定諸元 (2014年度見通し)  
 ・有利子負債コスト 実績金利 1.1% (税引後)  
 ・株主資本コスト率  
   ・リスクフリーレート 10年国債利回 0.8%  
   ・リスクプレミアム 5.5% β 値 0.75  
   ・資本金 = 時価総額

---

### 3. 参考資料

---



## 原油価格JCCが \$1/bbl 上昇する場合

(単位:億円)

		収支影響時期				
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
変動時期	第1四半期	▲4	▲6	+7	+4	+1
	第2四半期		▲4	▲8	+11	▲1
	第3四半期	—	—	▲4	▲10	▲14
	第4四半期	—	—	—	▲6	▲6
	通期	▲4	▲10	▲5	▲1	▲20

## 円ドルレートが ¥1/\$ 円安になる場合

(単位:億円)

		収支影響時期				
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
変動時期	第1四半期	▲12	+9	+2	0	▲1
	第2四半期	—	▲12	+9	+4	+1
	第3四半期	—	—	▲13	+13	0
	第4四半期	—	—	—	▲18	▲18
	通期	▲12	▲3	▲2	▲1	▲18

## 工業用業種別販売量推移

(百万m<sup>3</sup>)

業種	13年度	12年度	増減	前年比
食料品	527	525	2	0.4%
繊維	50	37	13	36.3%
紙・パルプ	161	173	▲12	▲6.7%
化学	594	604	▲10	▲1.7%
窯業土石	153	170	▲17	▲10.0%
鉄鋼	641	535	106	19.9%
非鉄金属	145	136	9	6.1%
金属機械	342	352	▲10	▲3.0%
発電専用	3,127	2,856	271	9.5%
その他製造業	500	502	▲2	▲0.4%
計	6,239	5,889	350	5.9%

## 販売状況(CGS、エネファーム)

### ①CGS

(ストック、千kW)

	09年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度 見通し
産業用	1,012	980	990	1,094	1,249	1,269
民生用	521	532	535	547	560	572

### ②エネファーム

(販売実績、千台)

09年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度 見通し
1.5	2.4	5.7	7.6	12.2	15.5

(ストック:44.9)



### ＜見通しに関する注意事項＞

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた東京ガスの経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、原油価格の動向、気温の変動、円ドルの為替レート変動、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東京ガスの対応等があります。

TSE:9531